



湖中産物圖証卷之下  
三上

湖中

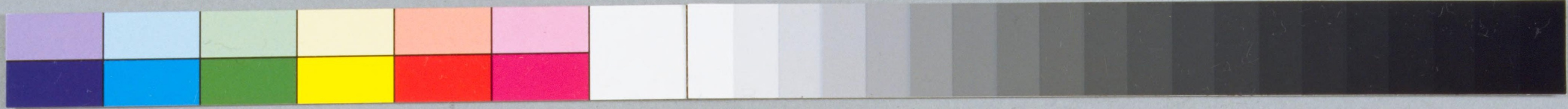
1  
3283  
10  
42

湖中産物圖証 3軸 寄別10-42 03- 001

国立国会図書館







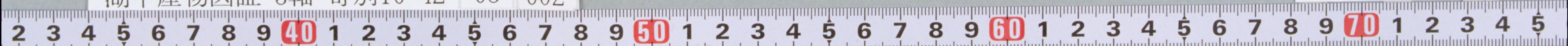
第 1  
3283

湖中産物図証卷三上

目次

- 一 黄鰯魚キ、
- 一 アカサキ、ノ一種
- 一 鰻鱺魚

一 鱈魚





湖中産物図説卷三上

目次

- 一 黄鰮魚ギ、
- 一 アカサギ、一種
- 一 鰻鱺魚
- 一 一種カニクヒ スイウナギ
- 一 フマウナギ
- 一 鮎魚 トヤウ
- 一 鱒魚 シツヘ
- 一 ヤツメウナギ
- 一 四足魚 ~~トヤウ~~ セウラ
- 一 鰕 ニナガコ
- 一 解虫 并小解虫
- 一 田島 夕ニシ
- 一 規
- 一 蚌 トブカヒ
- 一 トコ
- 一 フツカサ目
- 一 紫稍花

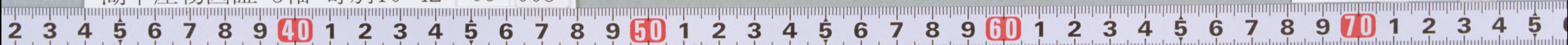
カニナリトヤウ  
メクラトヤウ

同一種

湖中産物図説卷三下

目次

- 一 鱉
- 一 銭カメ
- 一 亀
- 一 緑毛魚
- 一 水獺







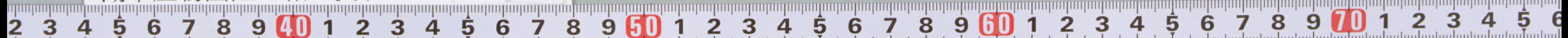
一 亀  
 一 緑毛魚  
 一 水獺

湖中産物図説卷四

目次

- 一 石<sup>ヨブ</sup>判魚雄
- 一 同魚雌
- 一 鯨魚<sup>五</sup>
- 一 オシカ
- 一 エロコ
- 一 ドナマウ
- 一 アカラ
- 一 シロザコ
- 一 ヒガイ
- 一 吐<sup>ヘ</sup>呻魚<sup>ヘ</sup>ヘ<sup>ヘ</sup>ド<sup>ヘ</sup>ロ<sup>ヘ</sup>
- 一 昔<sup>ヘ</sup>類魚<sup>ヘ</sup>ギ<sup>ヘ</sup>
- 一 鯉<sup>ヘ</sup>鱒魚<sup>ヘ</sup>

湖中産物図説







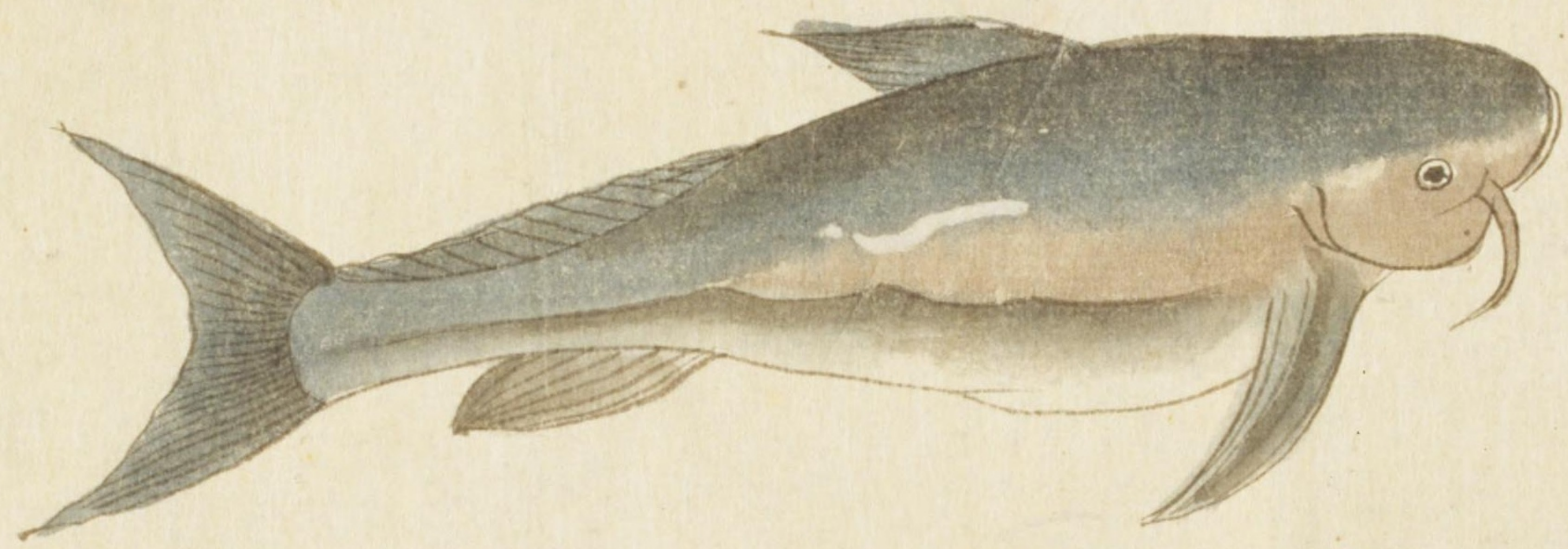
湖中產物圖說

湖魚圖說第三上

江州產物

藤居

重啓撰



本草綱目卷第四十四

黃頰魚

釋名 黃鯢魚

一名 昂思 盛京通志

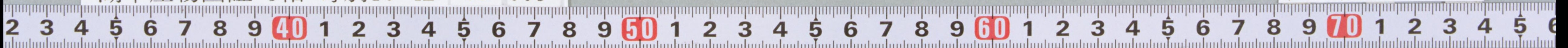
燕項魚

鯢乳

黃頰魚 詩經

別腮魚 詩經 名物圖說

鯢魚 正字通







黃鯪魚四季俱ニ甚多シ其狀鯪魚ニ似テ頭扁大腹垂レ  
 眼白ク口闊ク二條ノ鬚左右俱ニアリ腮下ニ一條鬚アリ鰓  
 鱗無ク正黃ニシテ淡墨斑文アリ脊ノ鱗腹ノ鱗皆利ニヨ  
 ク人ノ手ヲ整ス其痛甚シ尾ハ二岐ナリ稀ニ三岐ノ者モアリ  
 此魚頭骨硬クシテ食フベカラズ時珍ノ説ノ如ク其声軋ト云  
 カ如シ此魚ヲ平吞ス故ニ腹中ニ入レモノニ其狀全キ小魚  
 ラ宿留スルモノ多シ此魚ノ大サ小ナル者七八分大ナルモ  
 五六寸又尺許ナル者多シ  
 一種物身頭脊腹鱗ニ至迄灰色ノ者アリ眼中モ灰色  
 其餘異ナルヲシ又按ニ蘭山先生ノ説ニ一種海中ニ産  
 スルモノアリ。ウミギ、一名ミヤテ。ク、形河産ニ異ナラズ只  
 白黒ノ豎條アリ長サ三寸許ト云々予按我前敦賀ニテ  
 ウミギト呼又シヤテト稱スルアリ色淡黃黒色ニシテ淡  
 黒點アリ身長サ一二尺又又三尺許<sup>尺</sup>蘭山翁ノ説ノ魚ト同若  
 異魚ナリ予所著述ノ異魚圖表見故ニ畧此







廿七

黄鯰魚一種  
アカサ



黄鯰魚ノ一種アカサト云モアリ其状首扁ニシテ腮大ニ張  
 眼大ニ垂レテ大ニ口闊ク鬚左右ニ生シ腮下ニモ一條ノ鬚アリ  
 惣身鱗無ク尾ハ鋭セノ如ク頭背共ニ紫赤色腹ハ朱色尾  
 鱗共ニ褐色大サ三四寸迄ノモノリ其鱗ハ緑多ク大サアリテ色  
 ハ黄褐色也左右ニ刺アリテ人ヲ螫ス痛最甚ニ此レ大  
 和本草ニ載スル所ノ西京嵯峨川ニテニコウオト呼フモノ也  
 又按ニ蘭山翁ノ説ニ種海中ニ産スルモノアリウニキ、一名シヤテ  
 グ、形同産ニ異ナラス只白黒ノ堅條アリ長サ三寸分リト著  
 越ノ際ニウニギ、一名シヤテト呼魚アリ色淡黄ニシテ墨點  
 アリ大サ二尺ヨリ三尺許アリ蘭翁ノ説ク此ト同名異名  
 ナリ予所著ノ異魚図證ニ委見ヘタリ故ニ此ニ畧ス

三

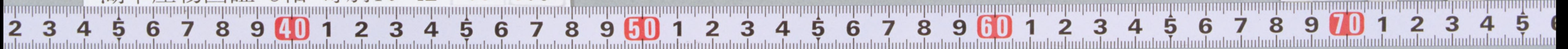
二







鰻  
鱺  
魚





本草綱目卷之四十四

鰻鱺魚

クナギ 萬葉集

クナギ 今名

クナギ 産根上品ヲ云カニクニ同ノ甲子キ

ヲナクナギ 同上 秋ニ至リ流ニ連テモ

ハシカニイラ和名抄

釋名 白鰻 綱目

蛇魚 綱目

乾者 風鰻

鰻魚 通志畧

鰻魚 同上

江鰻 鱺

時珍 食物本草

江鰻 異名 國貨

江鰻 海鹽縣 國經

鱺 正字通

蛇長魚

御菜 本草

烏鰻 雜字簿

鰻鱺魚 湖中及田間ノ小溝溜池

寺ニ多ク其狀時珍曰加蛇皆有鱗無舌腹白シ大者長サ

數尺 脂膏最多シト云 其所説ノコトクニシテ眼小ニシテ白ク

肉 鬣淡褐色 幼年ヲ経ルモノ也 全軀粘滑ニシテ捕ヘカ

クニ故ニウナギツカミウナギツルト云 草ヲ持テ捕フル時ハ捕ヘ安シ

又秋後岸ヨリシテ諸川及溝渠ニ止リ居ル者多ク湖中へ落テ

ル 幼ク落テナキト云 大ナルモノノ美味ナリト云 肉ハ剛ク酢味アリ

テ不佳ニ尺許ナルモノ味美ニシテ肉柔カニシテ上品ナリ又按ス

ルニ時珍曰 辟公 雜録曰 鰻鱺有雄無雌 以乳浸於鱧魚

則其子皆附于鱧卵而生 故謂之鱧鱺 又予 鰻鱺 魚ヲ

調スルニ見ルニ 庖丁ヲ用テ已ニ脊ヨリ割ク 腸中ヨリ三寸許ノ

小鰻鱺 出ル 故ニ 鮓生ナリト云 又 教人ノ説ニ 鰻鱺ヲ得テ 魚家

ニ 庖丁ヲ命ス 腸中ヨリ 筋糸ノ如キ者ヲ 取布シテ 此鰻鱺ノ 見

テリト云 其餘如 蚌ノ時ニ 見聞ス 故ニ 鮓生ナレト云 明ナリ凡

鰻鱺ヲ 釣ルニ 蚯蚓ヲ 用テ以テ 釣ル 濃洲ニ シナギカヤト云 卷アリ

其器ヲ以テ 泥中ヲ 搔弄スルニ 餘條ヲ 得ルト云







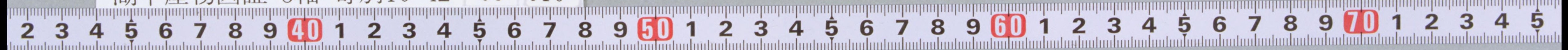
其墨ラソテ泥中ヲ撥寄スル一撥ニ十餘條ヲ得ルト云



一種カニヒト呼アリ首小ニシテ身太ク口中紅色ニシテ肉鬚黒ク其餘異ナルヲナシ大十二尺四寸ノモナリ巖穴石垣等中ニ潜ニテ出ルヲナシ能ク飛テ人ヲ嚙ム味甚美ナリ又一種スダラナキアリ脊ニ黄筋一道首アリ尾ニ通ルル姑ニ種共ニ味ニ甚美ナリ



一種カニクハ





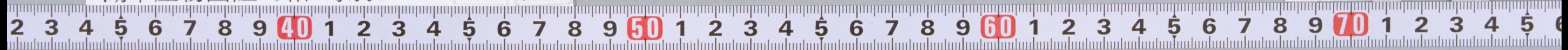


コフウナキ

一 種 胡 亦 ウ ナ キ ト 呼 フ ア リ 其 形 ヲ 尋 常  
ノ 鰻 鱺 ニ 異 ナ レ コ ト ナリ 全 身 及 鰭 皆  
ニ 背 ニ 灰 色 ノ 點 文 ヲ 有 ス 頭 ノ 大 ナ 身 ノ  
太 ト シ ト 同 ク シ 眼 ノ 先 キ ヨリ 到 テ 細 ク  
唇 白 色 也 一 種 半 身 以 下 ノ 肉 髻 尾  
共 同 色 ナ ル モ アリ 其 味 甚 美 ナリ

凡 鰻 鱺 ノ 其 状 長 ク テ 如 蛇 脂 膏  
多 ク 氣 味 甘 平 寒 ニ シ テ 小 毒 ヲ 有  
ス 然レ 病 療 者 甚 效 アリ 能 殺  
其 故 鰻 鱺 ノ 燒 煙 收 及 諸 疾 ヲ  
辟 ル 又 鱧 家 必 此 レ ヲ 忌 ヘ シ 鱧 鱧 ニ 此  
燒 煙 ヲ 聞 カ レ レ バ 極 メ テ 腐 爛 ス

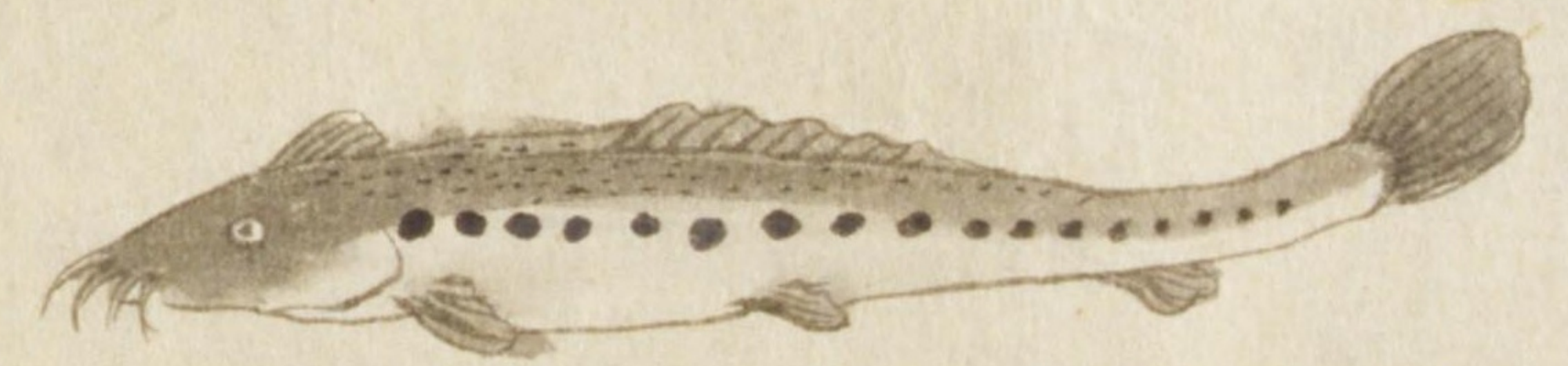
又 腹 下 へ 黒 斑 ヲ 有 ス レ モ 或 ハ 黒 點 ア  
ル モ 無 腮 モ ノ 皆 食 ス へ  
カ ラズ 必 ス 人 ヲ 毒 ス 無  
腮 モ ノ ハ 白 鰻 ナリ 次 下  
ニ 本 條 ヲ 出 ス







本網目卷第百四



鰻魚ハ泥川田溝其餘惡水ニ多ク又清水ニモアリ湖水中ニ  
 ハ稀ナリ其狀鰻鱺ニ似肉鬚ナク頸細クシテ長クロニ鬚アリ脊  
 色蒼色ニシテ小斑文ト小細ノ點文ヲ有ス中ニ淡水ノ細點文雜  
 ス腹白色又淡紅色ノ者アリ鱗ナクシテ粘滑アリ脊ノ鱗一ツ  
 腹下ニモアリ尾ハ岐ナク長サ六七寸ハナル者一ニ寸許夏月鰻アリ  
 其雌雄分明ナレカクシ  
 川トチヤウトチヤウアリ形状ハ石ニ所謂同シ其頭細長ク脊淡黒色下腹  
 灰白ニシテ黒色ノ圓點尾臍ヨリ正ク並鱗皆淡墨色尾平ニシテ  
 黒色ノ圓點尾ノ岐ナク味甚美アリ大三寸ハカリニ至ル 一種カミナリ  
 ハチヤウチヤウアリ此亦形状異ナルトム







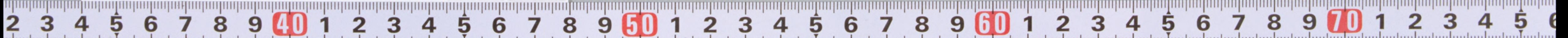
ハチヤウチヤアリ此形状異ナルヲ

ハナク頭細ク長ク鬚左右共ニ二條  
 ツ、有シ脊褐色墨色ノ方點ヲ  
 有シ眼腹又横ニ點正レク並ニ腹  
 灰色諸鱗皆褐色尾モ褐色ニシテ  
 岐ナク大サ二寸ヨリ五六寸ニ至ル味美  
 ナリ 一種メクラトヤウト呼ナリ其ノ  
 形頭イシフニ似テ口闊ク眼赤色ニ  
 シテ上ニムカヒ腮下左右ニ鱗アリ又腹  
 下ニモ左右ニリ尾ハ尋常ノ如ク物身  
 若褐色ニシテ四足魚ニ似テ足無ク脊  
 紫色ノ細點ヲ有シ甚ニ鱗ニ似ムト  
 イハレ方言ニメクラトヤウト名ヲ有  
 スル歟故ニ鱗魚ノ條ニ加ヘ置又漢名  
 モ詳ナク此後何類何魚漢名等分  
 別ナル時此條中ヲ除キ其條其ノ類  
 ニ加入センモナリ

鱗魚  
ニツヒ



九







我ノ方言ニツビ又ソラヘヒトス

アリ夏秋捕ヘ食フ其状似蛇長

腹鰻鱺ニ似テ頭扁ニシテ甚蛇

似タリ腮ト口細クテ上牙唇外見

レ其色頭脊黄色ニ淡黒色ヲ帯

脊ノ肉鬣黒灰色ニシテ尾ニ連リ類

ヨリ鱗ノ間灰白色淡紅彩アリ左右

ノ鱗褐色下腹灰白色ニシテ骨形

外ニ見ル其色褐色ニシテ蛇腹ニ似

腹下ニ肉鬣細クシテ帯褐色ニシテ

物ウシ然レ人此ヲ食フ大凡者ニ

尺許其肉皮甚剛ニ此レ細目ニ

載ス鱗ニシテ宗爽釋名ニ言世稱

ス黄鰻ト云者ナリ集解ニ珍珍

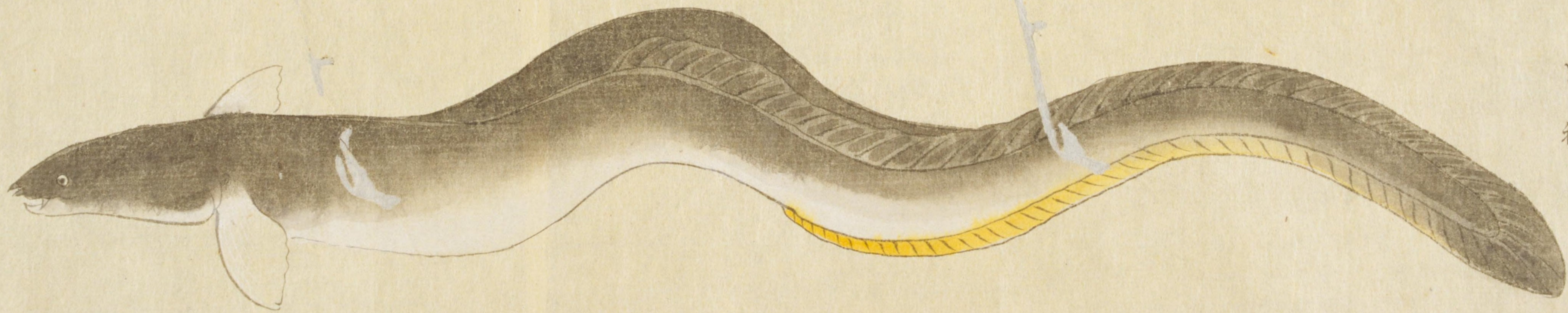
白鰻鱺黒章體多延注大者ニ

三尺夏出冬蟄ス一種蛇夏者名

蛇鱗有毒害人其蛇化者必頂

下有白點ト云ミ其圖上ノ者ナリ其

眼上ニ左右ニ二ツノ白點アリ



同上二種

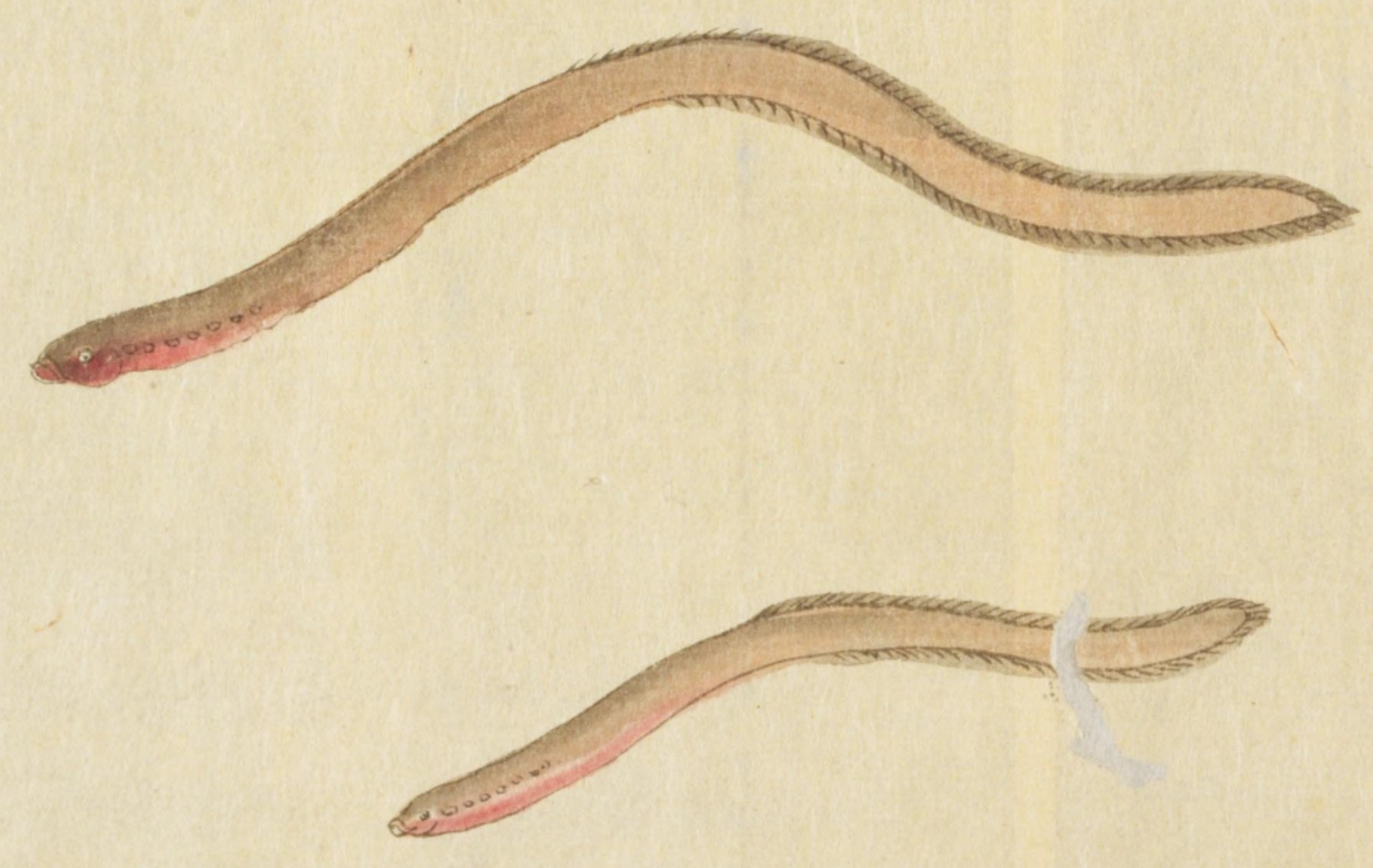






鰻魚ノ一種頭背共ニ灰色ニシテ腹下灰白左右鰭同色眼  
 小ニ眼ヨリ先キ口ニ至リ細ク上ノ牙口外ニ見レ頭上鰭近キ上ニ  
 小穴左右ニアリ半身以肉鱗アリ尾尖ノ鬣最廣ク魚色ナリ  
 此レ孫思邈ノ説ニキ者有毒ト云モナリ按ニ凡鰻魚毒アリ  
 宗奭曰令人霍乱又時珍曰大者殺人又曰鰻善穿穴無足而  
 竄與蛇同性ト云如坊ノ説ニヨレハ食スヘキ者ニ冰ス然共肉痔  
 出血疾アル人此ヲ用テ功アリ韓非子卷第八説林下曰鱧  
 婦人拾蠶利之所在皆為賁詭者此ナリ又物理小識茅  
 十一曰食鰻中毒食蟹即解

ヤツメのナギ



十一







我藩ノ方言ヤツメウナキト云テ小兒ノ疳患ヲ治スト云傳  
 エ矣テ食ハシムル者アリ其形蚯蚓ニ似テ頭ノ左右ニ一寸  
 許朱色惣身ハ紫黒ニシテ腮ナク筒口ニシテ其唇内外へ一呼  
 吸ワシ及卷シ眼至小其腮ノ邊朱色所ニ針眼ノ如キ小兒  
 ハツ左右ニアリ姑レ其ハツ目ト呼所ナリ尾方ニ聊肉鬣ノ如キ  
 者有カ如ク無カ如シ春暖至リテヨリ泥川田溝へ浮遊シ流  
 水ト苦ニ浴下リ更ニ上レコトナシ石垣或ハ泥土中ヨリ出レトシ  
 タリ溜書ニ未見漢名未詳

四足魚  
 サシセウワラ



十一

十一







物理小識卷十四 魚 鮎 魚有足綠木音如兒啼周益可

記宜興洞有四足鮎 鮎鮎通即ナマヅアユハ香魚ナリ 本條ニクハシク見ユ

張舜民記黃州四足鮎全義之西南盤龍山乳洞有金沙

龍盤魚皆四足脩尾丹腹狀若守宮恭和鄉有四足如螭

有時上岸見人則入水不傷人鼈無裙而尾長亦謂之鮎游

六日因高山原有里魚如指大其鱗即正星可調粥治カ兒疳又五 雜俎卷第九物部曰孟子曰綠木求魚言木上必不得魚也今嶺 南有鯢魚四足嘗緣木上鮎魚能登竹枒以口銜葉

按二州内江北中河内及橋井驛山中溪洞ニヤイニフシト云

アリ世ニ謂所ノサニシヤウ魚ノ状也最カ兒ニ切アリト云傳ヘ食セシ

ハ其形守宮ニ似テ小ク頭小ニ眼ハ針眼ノ如ク至テ小ク口濶ク四足

アリ共ニ三爪尾ハ細ク長シ惣身頭若銀色ニシテ同色ノ細點

又黒點ヲ有シ腰下淡墨色ヲ帶腹亦銀ナリ大サ二寸許云寸

ニスヤス此ヲ捕ラヘ石下或ハ土砂中ニ埋貯ヘ用ヲ待テ此レ得ルニ

數月ヲ越テ其処ヲ去ラヌ故ニ山イニフシト云

又里根山邊溪流ニテ右ニ言所ノモノ形色若大ニ異也其

形全ク守宮ニ同クシテ頭扁ニ眼大ニシテ口濶ク脊黃茶褐色ニシテ

銀ノ砂子ノ如シ腹茶褐色ニシテ銀點アリ眼腹黒點アリ腰下黃

色四足アリ前足ハ四爪後足ハ五爪也然ラサニシヤ魚ト呼ルモ小

兒ニテ食セシハ疳疾ニ切能アリト云然ニ種モ亦鯢魚ノ一種ナレハ

然レ箱根山等ノ物トハ大ニ異也又關山先生ノ談ヲ聞石州

筑州等ノ物ハ皆三爪ナリ又脊腹ノ色等モ各異同アリト聞

又系師系極川堀川等ヘ夏秋ノ間大雨イタル時三四尺ナル者流

落テ来レト時テ其色斑アリテ疳痛多シ此ヲ食ヒテ死ニ至レ

者ヲミルハ兒ニ用ユルモハイツレニ三寸ノ物住ナリトストヘタリ諸國







異同アルヲ以テシレハ又湖中ニモ三尺ヨリ名アリ此亦同物タルヘシ  
 故ニ君子ノ鑑定ヲ未ク請サシ共其形ノ似タルヲ見ニ食セシメ  
 功アルトヲ以テサシヤウ魚トテ鯢魚ノ一種四足魚トスル者ナリ

蝦



本草綱目卷第四十四

蝦 上ロ 一名何 長鬚公 曲身小子

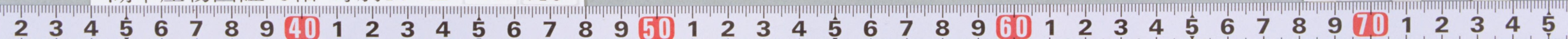
蝦ハカハ上ロノ總名ナリ大抵皆長鬚尖レニ鼻ヲ身

節アリ水游躍リ飛ト小長鬚片鬚青白色ノ數品アリ時

珍ク蝦江湖出者大而色白溪地出者小而色青其青色

者曰青蝦白色者曰白蝦以色名也ト今圖スル処ノ大ナル者ハ

上ロ







テナガエト俗稱ス身ノ大サ三寸許首長サ一寸五分許頭  
 身サ五分近シ前ノ兩足身之尺二同シ太シ鬚ハ身ノ足ヨ  
 リ長クシテ二條アリ眼モ大ニテ其色頭及身足皆灰白色  
 此即八閩通志之草蝦也

一種小ナルアリ頭尾共ニ二寸許又五分ノ者アリ其形頭  
 身半ヲテス鬚ニ條アリ長ク足ハ長短ナク皆同惣身灰色ニシテ  
 眼大ナリ夏秋ノ間鱚アリ腹外脚ノ間ニ此ヲ抱ク松原ニヒト  
 フ岩呂トス松原ハ地右湖邊一漆ナリ又湖西堅田ヨリも

師ニ堅田ニヒト呼フ其形松原蝦ニ同クシテ一年大ニシテ一年小  
 ナリ其外異ナルヲナシ此レ郡武府志ノ大脚蝦ナリト蘭山先生  
 ノ説ナリ又蝦ニ此レ智田獅子飛ヘ洛宇治川伏見淀橋本  
 辺ヘ落ナリテ大サ頭尾共ニ三四寸足ノ長サ四寸許鬚ハ足ヨ  
 リ短ク肉太クシテ甚美味トナル此レ六月ノ候ナリ右ノ邊各産

トス鹽ニ製シテ夏月遠ニ寄ス又大和本草曰凡蝦ハ毒アリ  
 不可多食瘡腫及ヒ最モ痘瘡ヲ患ル者勿食久シテ味  
 タル者最毒アリ

又雷白無鬚者及煮熟シテ及テ白色変ル者有~~大毒~~  
 蝦ハ長サ一寸許海草中ニ生ヌ有毒不可食雜食之必死ヌ

又江海ニ生ル蝦ト荏ゴトト不可食荏胡麻油ニ煎製シタル  
 豆腐不可食人ヲ大ニ毒シ立ニ腹痛ニ甚シキハ死ニ至ル故ニ街ナ  
 シ又傘ノ紙桐油紙ニ包ニ遠ニ寄時ハ必毒ヲ有ス

花

十







蟹



本草綱目卷第四十九

蟹カニガニ

釋名橫行介士 無腸公子

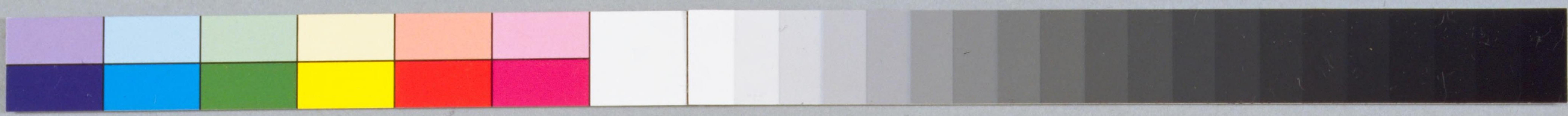
此圖ハ本草及方言ニ單ニ蟹ト稱スルモノニシテ即蟾蟹湖  
 水中ニアリ多カラズ稀ニ川へ上リ来ル其状殼圖ニシテ扁  
 其色黄色ニ淡墨色ヲ帯ルノ間色ナリ前ノ方ノ縁ハ數缺  
 アリテ其色紫黑色眼ハ突出シテ肉ヲ離レ上リテ海老蝦  
 ノ如シ殼甲ノ端縁及ハ足ノ色共ニ黄色ニシテ淡墨色ヲ  
 帯爪長ク直ニシテ曲リカシク剪爪最大ニシテ鋸齒アリテ甲  
 色ニ同色ナリ此レ李時珍所説ノ蟾蟹ニシテ我湖上ノ方言カニ

十六

十八



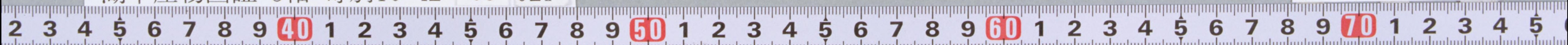




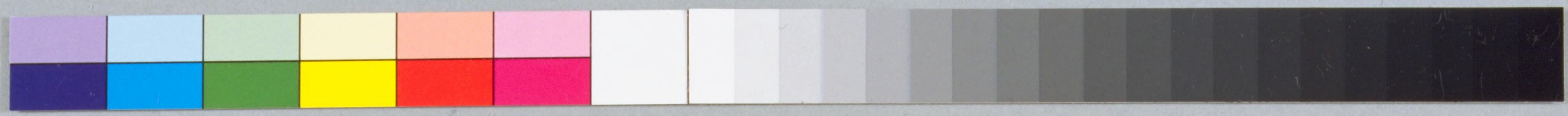
又ツカニト呼フモノナリ者焼シ食フ然レ微毒アリ凡漢名ニツカニ  
 ト呼アリ其ハラクリカシキリノ出ル蟬ニシテ形状モ大ニ異ナリ同名  
 異物ナリ凡蟹類兩目相向ニ或ハ六足ナルモノアリ四足ナル  
 モノアリ又ハ腹下有毛モノ或ハ腹中骨アルモノ又頭背足等星點  
 斑等々有スルモノ或ハ赤眼ノ者必ス毒アリ害人此毒ヲ解ス  
 ルニ冬瓜汁蘇汁蒜汁豉汁蘆根汁皆可解之ト弘景ノ説網  
 目ニ見ヘタリ



初テ皮ヲ又キタルモノ







初子皮ヲ又キタルモノ

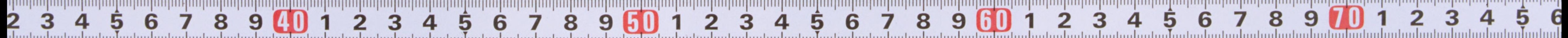
十七

六種ノ蟹ハ時珍ノ説ノ生溪洞石穴中ニ而殼堅赤者石蟹也野人食之ト言所ノ蟹ニシテ所産ノ地名ニ色ノモノアリ殼甲共ニ半色別ツモノアリ又赤色微黒淡黒紫色黄色灰色魚色其外間色ノ者多ク本色ノモノ稀ナリ我州ノ方言山ガニ谷ガニト呼ルレ時珍ノ説ノ石蟹ナリ本草ニ見ユ

又海産ニ石蟹アリ小蟹ニシテ其殼蛤ノ如ク堅硬ニシテ光澤ヲ有シ足剪共ニ殼同クシテ屈曲自由ナルモノアリ甚美ニシテ見ルニ堪タリ上エトイヘ及フマシエナルモノ也此レモ亦石蟹ト云フ同名異物勢州ニ見浦ヨリ出ス

本草綱目卷第四十五

田畝ハ田澤溜池中ニ生シテ春暖剝テ白ラ泥上ニ出ル其状大小ノ圖石ヲ重子タル如ク四肢ニ捻リ積ミ捲タル如ク殼色青黒ニシテ裏ハ灰色ニ苔色ニ苔色ヲ薄ク兼其肉ハ黄土色ノ如ク貝口ノ所ハ真黒ニシテ炭色又鯨魚ノ皮ノ色ニ似タリ肉ハ沸湯ニテ煮大白色ニ変ス其兒ヲ産スルヤ母殼ヲ出ルニ附テ出ル且射生ナリ後母肉再殼内ニ歸





又海産ニ石蟹アリ小蟹ニシテ其殼蛤ノ如ク堅硬ニシテ光澤  
 ヲ有シ足剪共ニ殼ニ同クシテ屈曲自由ナルモノアリ甚美ニシテ  
 見ルニ堪タリ上エトイヘヒ及フニシエタルモノ也此レモ亦石蟹ト云  
 フ同名異物勢州ニ見浦ヨリ出ス

本草綱目卷第四十五

田畝ハ田澤溜池中ニ生シテ春暖到テ白ラ泥上ニ出  
 ル其状大小ノ圖石ヲ童子名如ク四散ニ捨リ積ミ捲タル  
 如ク殼色青黒ニシテ裏ハ灰色ニ苔色ニ苔色ヲ薄ク兼  
 其肉ハ黄土色ノ如ク貝口ノ所ハ真黒ニシテ炭色又鯨魚  
 ノ皮ノ色ニ似タリ肉ハ沸湯ニテ煮大白色ニ變ス其兒ヲ産  
 スルヤ母殼ヲ出ルニ附テ出ル且射生ナリ後母肉再殼内ニ帰  
 スルヲ泥上ニ腐朽ス一奇ト云ヘシ又蝸氣少ナルモノ一分二分許  
 大ナルモノ一寸五分許其殼拾間ハ淡青色肉ハ淡黒色  
 小溝泥流ニ多ク湖中最大多水泥ヲハナシテ數日生テ保ツ

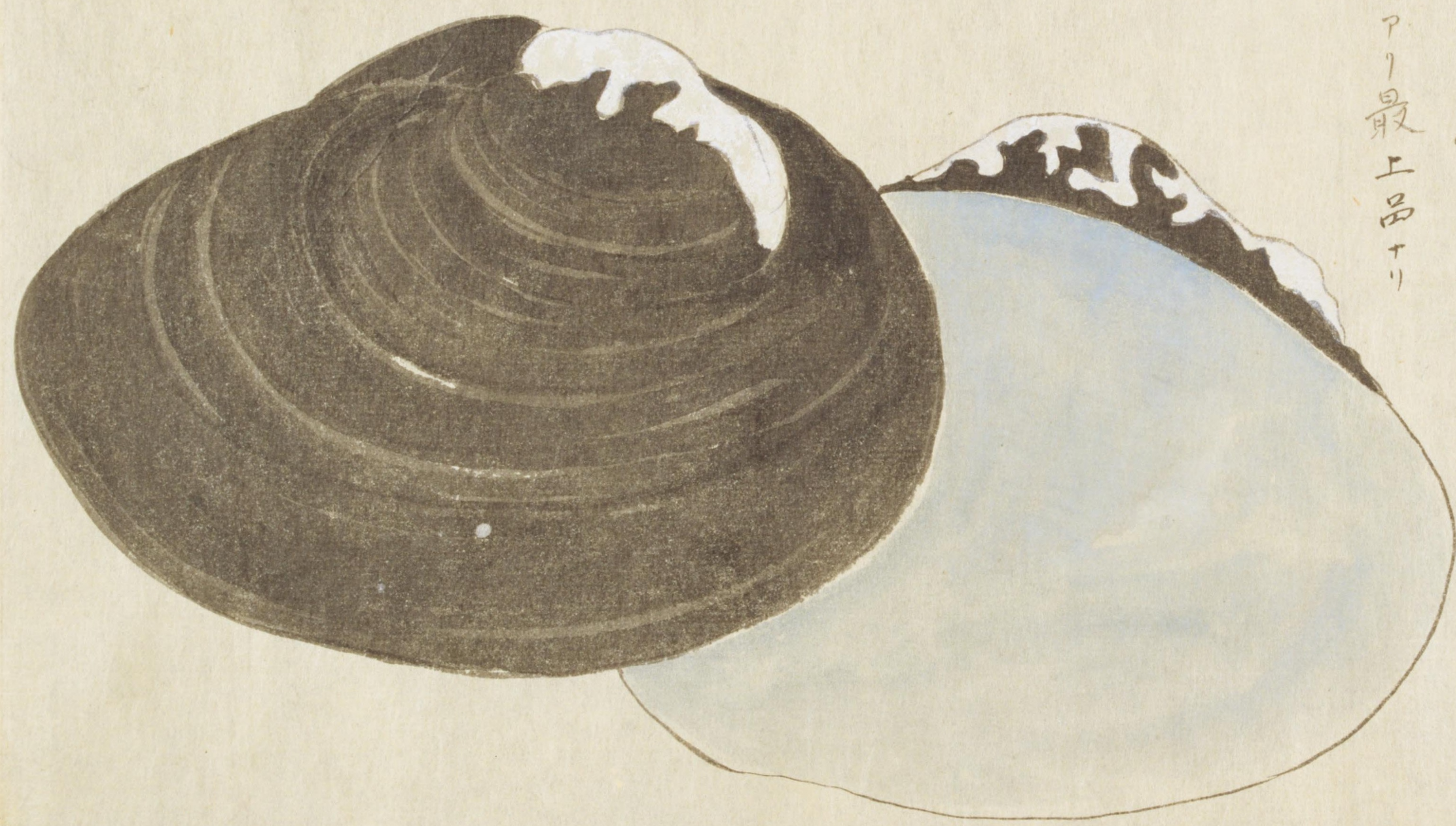
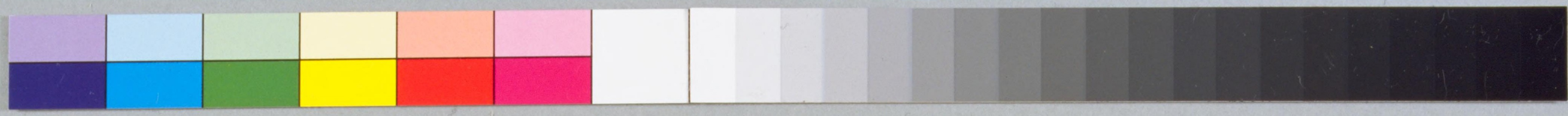
- 規 シバメ シハシ 黄規 黄色ノ
- 烏規 黒規 仁種 若シ黒色
- 釋名 烏螺 一名 螺 通雅 金銖 口南寧
- 蟹子 訓蒙 螯 通志 蝸 珠 琰 殼
- 湖中 所々ニ多シ 勢田ヨリ出ルモノヲ 谷産トス 其外

ヨリ出ルモノハ勢田ニ劣ル物レモ 其色ナルモノハ味佳ナリ 黒色  
 ナルモノハ劣ル其黄色ノモノハ砂中ノモノニシテ 黒色ノモノハ泥  
 中ニ生スルモノナリ 東湖砂泥雜ル故ニ黄黒二種共ニ生ス

十九







トフカイ 蚌

ヨリ出ルモノハ勢田ニ方ル規レ凡 蒼色ナルモノハ味佳ナリ黒色  
 ナルモノハカク其黄色ノモノハ砂中ノモノニシテ黒色ノモノハ泥  
 中ニ生スルモノナリ東湖砂泥雜ル故ニ黄黒二種共ニ生ス  
 小中一丁許ノモノナリ又白規ハ湖中ニアラス規ノ空殼砂  
 石ニサレテ白クナリタルモノハ白規殼ナリ又蚌ノ初テ生スルモノ  
 一分ハカリ白灰色ナリ好シク白シバニト云ヘトモ此レハ別物  
 ナリ又尋常ノモノニ嶋スジ斑點 寺アルモノナリ  
 凡規ニモ真珠アリ最上品ナリ

三

十九







本草綱目卷第四十六

蚌ハ湖水及池澤中ニ産ス小ナルモノ一二寸大シテ系江  
 州勢田大津湖西等ノ方言カウス貝ト云フ大ナルモノハ四  
 五寸或ハ七八寸ニ至ル尺ニ滿ルモ甚稀ナリ大シテ酒杯或ハ  
 魚盤等用ユ一種ノ雅器也其外皮薄クシテ脱シ易シ其次ノ白皮ヲ抹ト  
 ヲニ種ノ雅器也其外皮薄クシテ脱シ易シ其次ノ白皮ヲ抹ト  
 ナシタルモノヲ蚌粉ト云又湖水中ニ黒皮自ラ脱レ去リ或ハ正白  
 或ハ羊白半里ニ成タル者也皮裏ハ白色ニシテ銀光澤ニ藍色  
 ヲ兼鮮明ナルヲ又石決明ニナラハハ色也肉ハ蛤ノ肉色ニ似テ  
 剛クシテ脚泥氣アリ時珍曰蚌蛤同類而異形長者通曰  
 蚌ナリ四時共ニアリ此蚌中ニ真珠ヲ有ス上品ナリ  
 一種トロガイアリ蚌ト同所ニ産ト同所ニ産ス甚多シ其形蚌ニ  
 似テ圓扁色モ亦同シ大ナルモノ三四寸ニ至ル肉色味共ニ蚌ニ同シ  
 其兒ハ二分大サニシテ灰白色規ノ小ナル者ニ似タリ此レヲ白シハ  
 ミト云フ實ハドブ貝ノ兒也一旬ニ旬中ニ生長シテ一二寸ニ至ル  
 長スルコト甚速カ也一説ニ云蚌圓長ノモノハ雄圓扁ノモ  
 ノハ雌ナリト



二十

又一種大サ二寸許ニシテ殼面隆起シテ文脈乱雜黒周





一種トロガイアリ蚌ト同所ニ産ト同所ニ産ス甚多シ其形蚌ニ  
似テ圓扁色モ亦同シ大ナルモノ三四寸ニ至ル肉色味共ニ蚌ニ同シ  
其兒ハ二分大サニシテ灰白色規ノ小ナル者ニ似タリ此レヲ白シハ  
ミト云フ實ハドブ貝ノ兒也一旬二旬ノ中ニ生長シテ一二寸ニ至ル  
長スルコト甚速カ也一説ニ云蚌圓長ノモノハ雄圓扁ノモ  
ハ雌ナリト

又一種大サ二寸許ニシテ殻面隆起シテ文脈乱雜黒調  
ト此美ナルモノナシ  
此貝類多ク蛙ヲ含ム

紫栳花



紫栳花ハ其狀鯽鱖鯉魚等ノ軀ニ似テ淡紫色或墨色  
或紫黒色其湖水中ニ産スルモノ多クハ紫色ナリ漁者湖  
中ニ釣<sup>ユリ</sup>ヲ建置其竹木葭等ニ生スルモ、佳也又田間溝瀆楊  
柳蘆根等ニ生ス其形粟ノ穂ノ如ク充滿シ重リ連ル  
此本草原始出ス所、紫栳花ナリ二三月ノ頃、釣ヲ採收ルトキ得易  
シ此レ魚卵ナレト何魚ノ卵ナルコト詳カナラス然レモ鯽鱖、卵ナリ  
ト云ヌ龍ノ卵ト云古説ハ穂ヤカナラス論説詳カナラズ本草  
綱目ニモス本草始原ニ見ヘタリ魚ノ軀ト云諸説アルヨリ此  
部ニ入ル

本草書三十二

